＜令和８年度＞

商学部商学科 教授 春田吉備彦

留学先大学	ライプチッヒ大学
留学期間	令和８年９月 14 日～令和８年 10 月２日
研究活動	＜研究課題＞ ライプツィヒ大学で開催された独日労働法協会大会において、日本の米軍基地における雇用問題をテーマに個別報告を実施した。併せて、ドイツの米陸軍基地での実地調査や連邦労働裁判所裁判官へのヒアリングを通じて労働裁判制度の概要を把握した。 さらに専門弁護士との面談から、基地労働者を巡る訴訟構造や裁判管轄に関する法的知見を深めるなど、文献調査を超えた多角的な実態調査を展開した。

＜令和７年度＞

商学部商学科 教授 太田 丈太郎

留学先	M. サリヤンの家・博物館（アルメニア共和国・エレヴァン市）
留学期間	令和 7 年 3 月 30 日～令和 7 年 9 月 19 日
研究活動	【研究】 ＜研究課題＞ 画家マルチロス・サリヤン（1880-1972）の生涯と作品：２０世紀初頭「銀の時代」のロシア・モダニズム運動を背景とするアーカイヴ調査 マルチロス・サリヤンの残した『自伝』（未刊行タイプ原稿）を撮影・閲覧し、サリヤンについてこれまで知られていなかった詳細な情報を得た。サリヤンの作品を理解するうえで欠かすことのできないアルメニア中世教会建築（西アルメニアも含めて）について、主要な建築物のほぼすべてを現地調査した。アルメニアとジョージアの芸術全般、さらにアルメニアとジョージアに所蔵されているロシア絵画コレクションを細かく取材した。

＜令和６年度～令和７年度＞

経済学部経済学科　宮﨑 麻美

留学先大学	英国キール大学大学院人文・社会科学研究科
留学期間	令和６年８月～令和７年８月
研究活動	【研究】 ＜研究課題＞ 日本の環境外交と国際交渉 日本・イギリス・ドイツ三国間の気候変動政策と国際条約交渉や外交姿勢に関する比較研究プロジェクトを立ち上げ、イギリス国際政治学会で論文報告を実施。 水銀に関する水俣条約における日本の外交交渉の分析と論文化を実施。

＜令和６年度～令和７年度＞

外国語学部英米学科 教授　岩下　デビッド

留学先大学	カナダ・マニトバ大学
留学期間	令和６年８月２１日～令和７年８月９日
研究活動	【研究】 ＜研究課題＞ Intercultural Competence through Narrative に関する研究 マニトバ大学においてカナダの移民政策の歴史と地方自治体にある支援団体の状況について研究、マニトバ州の地方自治体（モーデンとポーテージ・ラ・プレーリー）にある移民定住支援団体でボランティア活動に参加、マニトバ大学とウイニペグ大学の学会で日本の外国人労働者の受け入れについて研究報告など

熊本学園大学教員学外研修の研究活動実績

＜令和 6 年度＞

社会福祉学部社会福祉学科 教授 松本　勝明

留学先	マックス・プランク社会法・社会政策研究所(ドイツ)
留学期間	令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日
研究活動	【研究】 ＜研究課題＞ 「欧州統合と社会保障」 欧州統合を進める EU の活動が各加盟国の社会保障に及ぼす影響について研究を行った。この研究を通じて、物、人、サービスの域内での自由移動などを推進するための EU の取組みや、難民危機、コロナ危機のような国境を越えて広がる危機に対する EU の対応が、加盟国の社会保障に及ぼす影響を明らかにした。

熊本学園大学派遣交換教員・派遣期間中の教育研究活動実績

＜令和 6 年度＞

商学部商学科 教授 喬 晋 建

派遣先大学	中国・深圳大学
派遣期間	令和 6 年 3 月～令和 7 年 2 月
教育研究活動	【教育】 ＜講義＞ 深圳大学管理学院の科目　経営コンサルタント 週 1 コマ 【研究】 ＜研究課題＞ 「中国企業における CSR（企業の社会的責任）活動の理論と実態」